

CONTENTS

ごあいさつ	トップメッセージ	03
会社紹介	akebonoの歩み	05
	akebonoの今	07
	製品紹介	09
	ブレーキの基礎知識	11
	グローバル展開	13
中長期成長モデル	サステナビリティ経営の全体像.....	15
	次世代技術への展開	
	次世代摩擦材	17
	次世代電動・高性能ブレーキ1：「次世代ブレーキ」	18
	次世代電動・高性能ブレーキ2：「高性能ブレーキ」	19
	センサー技術	20
	E 環境負荷低減への取り組み	
	環境マネジメント	21
	調達での取り組み	22
	生産での取り組み	22
	物流での取り組み	23
	S ステークホルダーとのつながり強化	
	人財・ダイバーシティ	24
	地域社会の皆様とともに	28
	安全・安心の提供	29
企業価値向上への取り組み	30	
G ガバナンス強化による企業価値向上		
コーポレート・ガバナンス体制	31	
マネジメント・システム	35	
社長・社外取締役対談	36	
経営状況	財務・非財務ハイライト	37
	中期経営計画の進捗状況	39
	事業概況	42
	地域別事業概況	43
会社情報	役員一覧	45
	会社概要／株主・投資家情報	46
	グループ企業・拠点一覧	47

編集方針

AKEBONO REPORT 2018は国際統合報告評議会（IIRC）が提唱する「統合思考」を踏まえつつ、曙ブレーキグループ（akebono）をとりまくステークホルダーの皆様へ、akebonoとはどのような企業であるか、どのような成長を目指しているのか、そしてブレーキの製造を通じて、いかに確かな「安全・安心」を届けていくのかを中心に紹介しています。

2018年版については、冊子版とウェブ版を用意しました。冊子版では読みやすさを重視して構成し、ステークホルダーの方々へ広くご理解いただきたい内容を中心に掲載しております。今年度版ではESG（環境・社会・企業統治）やSDGsの観点から当社のさまざまな取り組みを紹介しています。当社が持続的成長に向けて推進している事業内容をご理解いただく一助となれればと思います。冊子版の内容に対し、ウェブサイトではさらに詳しい情報やデータを掲載しています。

これらの紹介を通じて、「小規模専門独立製造会社」として飛躍を目指すakebonoの姿をご理解いただく一助となれればと考えております。

また編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）の指導原則のほか、GRI（Global Reporting Initiative）ガイドライン第4版、およびISO26000を参考にしました。

対象期間

年間実績データについては2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）のものを報告しています。同時に、最新の活動についても概要を併記し、取り組みの“今”をご理解いただけるように努めました。

対象組織

曙ブレーキ工業（株）（HP BU、Foundation BU、インフラ&モビリティシステム（AIMS）BU、Friction Material BU、補修品 BU、開発関連部署、自動車営業、生産、生産技術、品質保証、調達の各部門、他管理系部署および館林製造所を含む）、グループ企業各社（主として、山形、福島、岩槻、山陽の4生産拠点およびアロックス、中央技術研究所、あけぼの123、曙アドバンスドエンジニアリング、ABC、AEC、ABE、ABG、ABCT、ABCS（米国）、ABM（メキシコ）、AESA（Gonesse）、AESA（Arras）（フランス）、AEG（ドイツ）、AAE（イギリス）、ABSK（スロバキア）、AKBT、A&M（タイ）、広州、蘇州（中国）、AAIJ（インドネシア）、AAVH（ベトナム））の活動内容やデータを報告しています。対象組織の一部の企業名において略称を使用しています。正式名称についてはP47-48グループ企業・拠点一覧をご覧ください。



<p>曙の理念</p>	<p>私達は、 「摩擦と振動、その制御と解析」により、 ひとつひとつのいのちを 守り、育み、支え続けて行きます。</p> <p>[1999年制定]</p>
<p>akebono 21世紀宣言</p>	<p>akebonoは曙の理念の基に 21世紀を通して価値の創造を続けます。</p> <p>私達は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私達の提供する『価値』を正しく認識します。 2. 新しい『価値』を創造し、不可欠な存在となります。 3. 拙速を恐れずスピードとこだわりをもってやり遂げます。 4. ひとりひとりが誇りをもって『夢』を実現します。 <p>以上宣言する。</p> <p>[1999年制定]</p>
<p>経営方針 (経営の三本柱)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. お客様第一 2. 技術の再構築 3. グローバルネットワークの確立 <p>[1990年制定]</p>

<p>ブランドスローガン</p> <p>さりげない安心と感動する制動を</p>	<p>ブランドステートメント</p> <p>akebonoは創業以来、ブレーキの本質にこだわり、 安全で安心な毎日を支える技術を、 ひたむきに研ぎ上げてきました。</p> <p>暮らしの一步先を見つめ、 お客様の喜ぶシーンをワクワクしながら想像し、 その実現に向けて挑戦していきます。</p> <p>さりげない安心と感動する制動を。 世界中の皆様の笑顔を願って。</p> <p>[2005年制定]</p>
---	--

年度の表記について

本報告書では、4月1日から翌年3月31日までの会計期間につき、冊子全体の整合性と読者の便宜を図るため、年度表記を採用しています。そのため、財務諸表につきましても年度で統一して掲載しています。

「AKEBONO REPORT 2018」では、2017年度のakebonoの活動に関する財務情報と非財務情報を読みやすくまとめ、冊子として発行します。
また、それぞれの取り組みの詳細な情報はウェブサイトにて開示しています。

	<p>ウェブサイト それぞれの取り組みの詳細な情報とデータは ウェブサイトにて開示しています。</p>
	<p>冊子 重要度の高いテーマをダイジェスト版 冊子として発行しています。</p>

発行日	2018年6月 (前回発行日：2017年6月、次回発行予定：2019年6月)
お問い合わせ先	曙ブレーキ工業(株) 経営企画部門 広報・IR室
Tel	(03) 3668-5183
Fax	(03) 5695-7391
Web	曙ブレーキ工業(株)のウェブサイト上で、本報告書のウェブ版を公開しています。併せてご覧ください。
URL	http://www.akebono-brake.com

見通しに関する注意事項

このレポートに記載されている、現在の計画や見通し、戦略、業績などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から当社が判断した仮定および所信に基づく見込みです。これらの記述は、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場競争の動向、為替レート、税制や諸制度などに関わるリスクや不確定な要素を含んでいます。また、リスクや不確定な要素はこれらに限定されるものではありません。従って、実際の業績は、さまざまな要因によって、当社の見込みとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。